

# 大分市立植田小学校 学力向上プラン

## I 児童の状況

<p>○学習面に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4・5・6年とも学力テストの結果を見ると、「国語」「理科」よりも「算数」に課題が見られる。</li> <li>・ 算数では、基礎・基本の定着はできているが、応用・活用に課題が見られる。</li> <li>・ 5年の調査結果をみると、算数の「量と測定」「数量関係」の領域で十分な結果が出ていない。</li> <li>・ 4年の調査結果をみると、算数の「図形」の領域で十分な結果が出ていない。</li> <li>・ 体力面では、「立ち幅跳び」「50m走」「握力」に課題が見られる。</li> </ul>	<p>○生活面に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の定着が82%と低い。</li> <li>・ テレビやゲームに費やす時間が多いためか、生活が不規則な児童が見られる。</li> <li>・ 言われたことはきちんとこなすが、自分の判断で行動することができない児童が見られる。</li> <li>・ いろいろな友だちと関わる機会が少なく、遊び相手が固定化されており、仲間としてのつながりが弱い。</li> <li>・ 休み時間に外遊びをしている児童は80%。</li> <li>・ 生活のきまりが守れていると感じている子どもは91%。</li> </ul>
--	--

## II 指導改善のポイント

<p>○学習に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習熟度別の授業を取り入れ、個別の指導が必要な子どもに補充する。(夏休みの補充授業)</li> <li>・ 交流の場の工夫(ペア・グループ活動等)</li> <li>・ 「課題」「まとめ」「めあて」「振り返り」の工夫</li> <li>・ 植田小スタンダードの徹底</li> <li>・ ICT機器を活用した授業実践</li> <li>・ 1時間完結型の徹底と互見授業による授業力向上。</li> </ul>	<p>○生活に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ご飯)を家庭へ働きかける。</li> <li>・ 心育ての取り組み(植田のほまれ)・認め支え合う集団づくり</li> <li>・ 行事や特別活動による役割を積極的に果たす</li> <li>・ あさがおあいさつの徹底</li> <li>・ きれいな学校をめざした無言清掃の徹底</li> <li>・ 休み時間に外遊びを楽しむ</li> </ul>
---	---

## III めざす児童像

### 学校教育目標に基づく子ども像

よく学び、すすんで実践する 心豊かな たくましい植田っ子の育成

(授業改善による基礎・基本の定着と学力向上に関する取組項目)

- ① 朝の活動や習熟度別補充学習により、わかった・できたと感じる児童の割合95%
- ② 授業改善によるペアトークやグループ討議の中で自分の考えを主体的に伝え合うことができる児童90%
- ③ つけたい力を明確にした1時間完結型の互見授業により授業力向上を図る。

<p>(1) 学力向上のための校内体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元によって習熟度を取り入れ、C層の子どもたちをB層に引き上げる。(夏休みの補充授業)</li> <li>○「課題」「まとめ」「めあて」「振り返り」を必ず位置づける(誰もが向き合える「課題」設定)。</li> <li>○ペアトークやグループ討議で自分の考えを伝え合う場を設定する授業</li> <li>○「植田小スタンダード」の共通理解と実践の徹底を図るとともに、短期間で確認していく。</li> <li>○学力保障の立場から校内研修で取り組む人権教育の役割を重視して、組織的(学年・分掌で共通理解)な取り組みを進めていく。</li> <li>○デジタルテレビ全クラス設置によるICT機器を活用した授業実践の推進。</li> <li>○1時間完結型の徹底と互見授業による授業力向上。</li> </ul> <p>(2) 学力向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対話(聞く・話す)を意識した授業作り             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結論に至るまでの過程を重視した授業作り</li> <li>・ 思考ツールの活用(考えの視覚化)</li> <li>・ ICTの活用(考えの視覚化)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いのルール作り(進め方)</li> <li>・ 系統性の共通理解</li> <li>○課題とまとめを明確にした1時間完結型授業</li> <li>○図書(室)を活用した授業実践や読書の推進</li> <li>○基礎・基本の定着に向けた0校時の効果的運用              &lt;国語&gt;スキルタイム &lt;算数&gt;チャレンジタイム</li> <li>○小中一貫教育の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義務教育9年間を見通した系統的な教育を行い、「確かな学力の向上」を推進する</li> </ul> </li> <li>○補充指導・個別指導の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上ステップアップ事業への参加、休み時間、放課後等の補充指導や個別指導に努める</li> </ul> </li> <li>(3) 学校・家庭・地域と連携した「協働」の取組み</li> <li>○家庭学習時間の確保、学年×10分以上、個別ごとに実態に応じた家庭学習内容の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ (家庭) 毎日、家庭学習のチェックを行う。または家庭学習をしたか声かけを行う。</li> </ul> </li> <li>○基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の確立</li> <li>○「共育」のための情報発信(学校便り・学年通信等)</li> <li>○地域教材・人材の活用、地域に出かける活動</li> </ul>
---	---